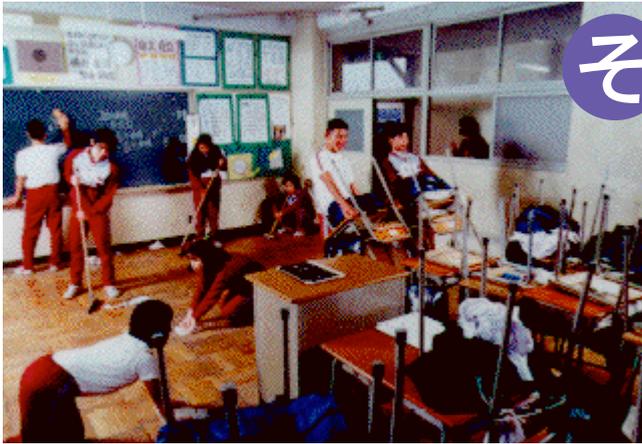




写真で見る
日本人の生活

高校生の放課後 ~ 学校がおわってから ~



そうじ

日本の中学生や高校生は、ふつう、授業がおわると、そうじをします。

そうじをするところは、教室や、ろうかや、とくべつな教室などです。ふつう、5~6人でグループを作って、そうじをします。

学期のおわりには、時間をかけていないにそうじをします。これを「大そうじ」と言います。

中学生や高校生の多くは、放課後に部活動を行います。部活動には、文化部と運動部の2つがあります。

文化部には、びじゅつ部、音楽部、えんげき部などがあります。写真の部活動は、プラスバンド部です。



運動部

部活動

文化部



運動部には、野球、サッカー、バスケットボールなどがあります。ふつう、運動部は文化部より活動する時間が長いです。とくに大きな試合の前などは、毎日練習をします。

テニス、サッカー、野球などが人気があります。写真の部活動は、女子のテニス部です。



このコーナーでは、国際交流基金日本語国際センターが発行している日本語教育用「写真パネルバンク」シリーズを使って、初等中等教育機関で日本語を教える先生方がどのように日本人の生活を紹介できるかを提案していきます。また、文型、単語、漢字は初級の学習者でも読めるようにやさしいものを使いました。今回は、日本の高校生が授業のあとで、どんなことをしているかを紹介します。

ファーストフード

高校生は、放課後、おなががすくと、よくファーストフードの店に行きます。ファーストフードの店は安いし、たくさんあって、長くおしゃべりができます。ふつう、高校生はハンバーガーやフライドチキンの店に行きますが、日本にはすしやそばのファーストフードもあります。



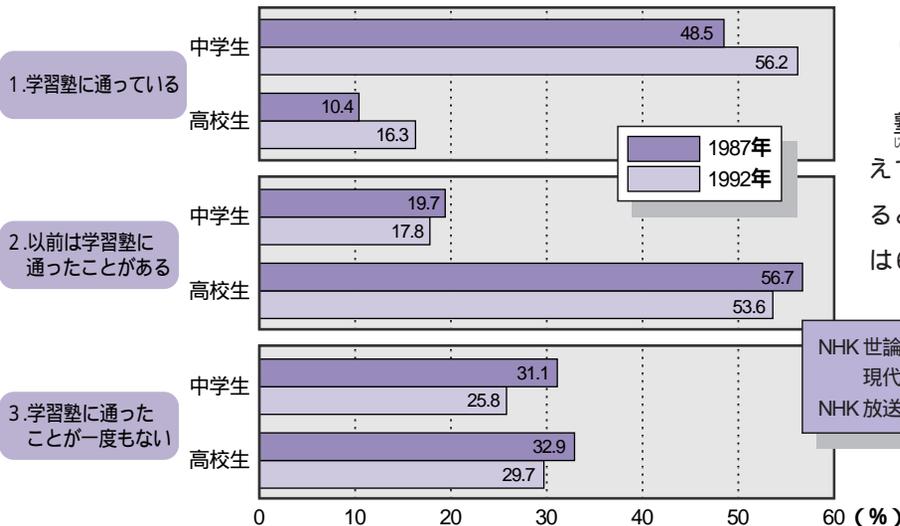
東京や大阪など大きな都市では、たくさんの子供たちが放課後に塾にかよっています。塾とは、学校のあとに通って勉強するところです。勉強の塾のほかに、英語や書道やそろばんの塾もあります。

高校生は、放課後に予備校に行く人が多いです。予備校は大学に入るために特別な勉強をする塾です。

塾 予備校

ふえる塾通い

塾に通う中学生、高校生がだんだんふえています。1992年のアンケートによると、中学生では2人に1人、高校生では6人に1人が通っています。



NHK 世論調査
現代中学生・高校生の生活と意識 第2版
NHK 放送文化研究所世論調査部編 1995より作成